

2017年12月22日

報道関係各位

公益財団法人 国際高等研究所

**国際高等研究所「けいはんな“エジソンの会”」第17回会合の開催について
今回のテーマ：IoTセキュリティについての研究動向と対策および今後の展望**

公益財団法人国際高等研究所（木津川市、理事長 立石義雄、所長 長尾真）は、けいはんな学研都市が標榜する「立地機関間の連携とそれによる成果の創出」を促進するための立地機関によるコミュニティの形成と、この街ならではの基幹技術・基幹産業の確立を目指して、「けいはんな“エジソンの会”」を開催しています。

具体的な「オープンイノベーション」の成功事例を造り込むだけでなく、けいはんな学研都市のコアとなる科学技術ドメインを確立することで、世界をリードするサイエンスシティを目指しています。この度、第17回会合を下記の通り開催いたします。

【開催概要】**◆日時** 1月23日（火）13：30～19：30**◆場所** 国際高等研究所レクチャーホール（木津川市木津川台9丁目3番地）**◆参加者** けいはんな学研都市の立地機関を中心に50名程度**◆プログラム**13:30-14:50 「IoTセキュリティの課題と対策および産総研の取り組み」
田中 良夫 産業技術総合研究所情報技術研究部門長15:00-16:20 「IoTセキュリティ ～その技術体系と実践～」
梶本 一夫 パナソニック株式会社技術戦略部ソフトウェア戦略担当理事

16:30-17:50 インタラクティブ・セッション

18:00-19:30 懇親会

◆参加費 5,000円 **◆定員** 50名、18歳以上

◆申し込み方法 高等研HP <http://www.iias.or.jp/communication/edison> よりお申し込みください。
※当会合は一般参加者を受け付けております。当会合開催の告知記事のご協力を何卒よろしくお願い申し上げます。また、報道関係者の皆様もご参加いただけます。この機会に是非ご取材いただきますよう、どうぞよろしくお願いいたします。

報道関係者の参加申し込みについて

別紙返信用FAX用紙もしくはメールにて、1月22日（月）までにご連絡をお願いします。

なお、報道関係者の皆様の参加費については無料です。

（本件に関する問い合わせ先）

公益財団法人国際高等研究所 広報課 森口 有加里

TEL: 0774-73-4000 FAX 0774-73-4005 携帯:090-4288-4001 E-mail: kouhou@iias.or.jp

○「けいはんな“エジソンの会”」の目指すところ

けいはんな学研都市が標榜する「立地機関間の連携とそれによる成果の創出」を促進するため、高等研が知的ハブとしての役割を果たすとともに、立地機関の研究者や技術者のコミュニティを形成し、具体的な「オープンイノベーション」の成功事例の確立に寄与することを目指しています。

取組みの核となる科学技術シーズの領域を人工知能～AI とし、2017 年度からは、AI について具体的な出口を見据えた研究開発を実践するために必要な内容を掘り下げて提案していくことに主眼を置き、研究機関や企業に属する様々な立場にある方々が、自ら AI を中心としたテクノロジーを活用し、具体的な製品、サービスを生み出すことができるようになるためのテーマ設定をしていきます。

具体的には AI とそれを取り巻く技術の最新動向を掘り下げて解説する「テクノロジー」編と、様々な分野における AI を駆使した最先端のソリューションや AI の活用に係る課題を扱う「システム・社会」編から、テーマを厳選してお届けします。AI を中心とした新たなテクノロジーがどのように活かされ、どのように新たなエコシステムが切り拓かれるのか、様々な分野の研究者や企業の皆様にも大いに参考にしていただけるものと期待しています。

○第 17 回会合の概要

あらゆるものがネットワークにつながる IoT (Internet of Thing) 時代において、IoT による産業革新は、あらゆる範囲で影響を及ぼしつつあります。ユビキタスに設置されたセンサやデバイスは産業革新を齎し、AI やビッグデータ等の新たな技術とともに産業を大きく進展させていますが、その一方で、自動車の運転がインターネット経由でハッキングされる事例から見られるように、セキュリティ面での対応を怠ると生命にまで危険を及ぼす事態となります。

クラウド、インターネット、エッジデバイス等ネットワークを介して繋がるアプリケーションにおけるセキュリティは、豊かで安全な社会の実現にとって、より一層重要となってきました。

第 17 回会合では、産総研の情報技術研究部門の責任者で IoT セキュリティに取り組んでおられる田中先生より、IoT 特有の脅威とセキュリティの課題を俯瞰的に示し、サイバー空間と物理空間がより密接に関係する今後の IoT 時代におけるセキュリティ対策の研究動向と、産総研の取り組みについてご紹介頂きます。

パナソニックで IoT 戦略を統括されている梶本氏からは、IoT セキュリティを支える技術群の体系的な説明と、業界特性に応じた実践での対応を、自動車を例にとり説明頂き、企業での脅威分析、脅威対策についてお話を頂きます。

IoT セキュリティについての研究動向と先進の対策および今後の展望に触れていただくことによって、ICT 技術を中心とした新たなテクノロジーがどのように活かされ、セキュリティを持った IoT を如何に展開して産業革新を実現させていくことが出来るのか、分野を超えた研究者・技術者、企業様の様々な立場の皆様にも大いに参考にしていただけるものと期待しています。

○「けいはんな“エジソンの会”」の企画・運営を行う「企画運営委員会」（順不同、16 機関）

- ・ **研究機関**：理化学研究所、産業技術総合研究所、情報通信研究機構ユニバーサルコミュニケーション研究所、量子科学技術研究開発機構、国際高等研究所
- ・ **教育機関**：奈良先端科学技術大学院大学、滋賀大学、京都情報大学院大学
- ・ **企業**：西日本電信電話株式会社、サントリーホールディングス株式会社、パナソニック株式会社、株式会社島津製作所、京セラ株式会社、オムロン株式会社、株式会社国際電気通信基礎技術研究所、日本電産株式会社

○オブザーバー（順不同、9 機関）

- ・ 京都府、奈良県、木津川市、精華町、奈良市、国立国会図書館、関西文化学術研究都市推進機構、関西経済連合会、京都産業 21